



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 シード
コード番号 7743 URL <http://www.seed.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浦壁 昌広

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 片山 和弘

TEL 03-3813-1111

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	18,227	13.2	1,254	111.8	1,153	113.9	698	147.3
28年3月期第3四半期	16,099	16.9	592	62.2	539	69.2	282	72.8

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 1,118百万円 (481.8%) 28年3月期第3四半期 192百万円 (△58.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	83.75	—
28年3月期第3四半期	33.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	28,937	8,882	30.7	1,064.44
28年3月期	24,768	7,952	32.1	952.95

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 8,882百万円 28年3月期 7,952百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	22.50	22.50
29年3月期	—	0.00	—		
29年3月期(予想)				27.50	27.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)29年3月期期末配当金の内訳 普通配当22円50銭 記念配当5円 ※設立60周年記念配当

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,400	11.8	1,420	58.6	1,180	41.5	670	36.0	80.29

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	9,112,000 株	28年3月期	9,112,000 株
29年3月期3Q	767,397 株	28年3月期	767,348 株
29年3月期3Q	8,344,642 株	28年3月期3Q	8,554,685 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の2～3ページを参照願います。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による財政・金融等の経済政策を背景に、緩やかな回復基調を維持しているものの、中国やアジア新興国の成長鈍化や米国のトランプ政権の経済政策の影響、英国のEU離脱問題が本格的に動き始めている等で、為替動向を含めた経済全般に先行き不透明感が増しております。

コンタクトレンズ業界におきましては、視力補正が必要な方々の生活においてコンタクトレンズが“必需品”として定着している環境を背景にして、1日使い捨てタイプへのシフトが続いていることや、遠近両用やサークルレンズの伸長もあり、市場は緩やかながら成長基調にあるものと推測されます。しかしながら、シリコーンハイドロゲル素材の新商品投入や乱視用、遠近両用のラインアップ強化等、メーカー間の競合環境は激化しております。

このような状況の中、当社グループは、3ヶ年中期経営計画の中間期である今年度につきましても前期から引き続き、「販売戦略」、「商品戦略」、「生産・開発力強化」、「管理体制強化」を最重要施策として、変化する市場や将来の競争力強化に結実すべく積極的に経営資源を投下していくこととし、既存商品のスペック拡充やブランド認知度向上を図り、国産ならではの開発力、品質・安全性の高さを、お客様よりご支援いただくことでシェア拡大に繋げ、収益性の改善、事業基盤の強化に努めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は18,227百万円(前年同期比13.2%増)となり、利益につきましても、営業利益1,254百万円(前年同期比111.8%増)、経常利益1,153百万円(前年同期比113.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益698百万円(前年同期比147.3%増)と増収増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(コンタクトレンズ・ケア用品)

純国産使い捨てコンタクトレンズのピュアシリーズにおいて、1日使い捨てタイプの近視用、乱視用、遠近両用と、2016年1月よりバージョンアップし、うるおい感を向上させました2週間交換タイプの「2ウィークピュアうるおいプラス」を中心に、国産の品質力やきめ細やかな対応力を積極的にアピールしてまいりました。また、瞳を際立たせるサークルレンズ「シードアイコフレワンデーUV」と「ヒロインメイクワンデーUV」等サークルレンズにつきましても、国内外において積極的な営業活動を展開してまいりました。

この結果、主力カテゴリーである1日使い捨てコンタクトレンズにおいては、前期より注力しておりますスペック拡充や広告宣伝の投下により「ワンデーピュアシリーズ」の乱視用や、近視・遠視用が伸長しております。また、サークルレンズ各アイテムについても前年同期を上回っており、これにより前年同期対比では「ワンデーピュアシリーズ」が約24%、「アイコフレワンデーUV」が約10%と、それぞれ伸長しております(※比率は卸売ベース)。

ケア用品につきましても、流通在庫の消化や新規導入企業の獲得により前年同期を上回り、これにより売上高は17,313百万円(前年同期比14.4%増)と増収となりました。

人件費や研究開発費の増加に伴い、販管費は増加しておりますものの、売上高伸長に伴う粗利益増加により営業利益につきましても、1,784百万円(前年同期比59.8%増)と増益となりました。

(眼鏡)

主力フレームの「ビビッドムーン」や「プラスミックス」を中心に、代理店の効率的な活用や展示会に出展する等、新販路の開拓や既存得意先での取引量拡大とともに、眼鏡レンズの販売終了により事業損益の改善に努めてまいりました。

この結果、主力フレームの新作モデルの配荷等が進み、売上高は722百万円(前年同期比1.7%増)となりました。眼鏡レンズの販売終了による経費削減や合理化策の効果もあり、営業利益は0.2百万円(前年同期営業損失52百万円)と改善いたしました。

(その他)

子会社の携帯電話部門において、昨年8月に2店舗を譲渡したこと等が影響し、売上高は191百万円(前年同期比25.2%減)、営業損失48百万円(前年同期営業損失54百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は、28,937百万円となり、前連結会計年度末から4,169百万円増加いたしました。主な要因として、研究棟の竣工や2号棟の製造設備の一部増設に伴い有形固定資産が2,152百万円(13,752百万円から15,904百万円)増加したことや、収益の増加により現金及び預金が1,236百万円(2,028百万円から3,265百万円)増加したことが挙げられます。

負債につきましては、20,055百万円となり、前連結会計年度末から3,239百万円の増加となりました。主な要因として、運転資金借入れにより短期借入金が2,507百万円(4,046百万円から6,553百万円)増加したことによるものであります。

純資産につきましては、8,882百万円となり、前連結会計年度末から930百万円の増加となりました。主な要因として、利益剰余金が増加していることが挙げられます。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、3,265百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1,810百万円(前年同期2,887百万円の収入)となりました。資金増加の主な要因は、減価償却費1,376百万円や未払金の増加439百万円が挙げられます。また、資金減少の主な要因は、未払消費税等の減少495百万円や法人税等の支払い367百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2,617百万円(前年同期592百万円の支出)となりました。これは主に、研究棟の竣工に伴う有形固定資産の取得1,885百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、1,956百万円(前年同期1,525百万円の支出)となりました。これは主に、短期借入金の純増額2,647百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期連結業績予想につきましては、当第4四半期において、広告宣伝や販売促進関連経費の国内外での投下や、当初予想より若干後ろ倒しとなっております研究開発費の投入を予定しております。加えて、為替変動に伴う外貨建て預金の換算差額等の不確定要素もあるため、今後の動向の注視が必要であること等を勘案いたしまして、平成28年11月1日付「平成29年3月期 第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想から、変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第3四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である株式会社シードアイサービスが、100%株式を所有する株式会社アイスペースを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ32,157千円増加しております。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,028,853	3,265,017
受取手形及び売掛金	3,671,570	3,760,455
商品及び製品	2,783,121	2,841,223
仕掛品	271,639	250,524
原材料及び貯蔵品	374,203	411,144
未収入金	314,875	349,603
その他	585,539	933,007
貸倒引当金	△82,670	△123,922
流動資産合計	9,947,132	11,687,054
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,642,112	6,153,493
機械装置及び運搬具(純額)	949,012	953,339
土地	3,548,710	3,548,710
リース資産(純額)	3,571,057	4,266,868
建設仮勘定	801,707	685,887
その他(純額)	239,891	296,664
有形固定資産合計	13,752,490	15,904,963
無形固定資産	65,941	55,738
投資その他の資産	1,002,540	1,289,757
固定資産合計	14,820,972	17,250,460
資産合計	24,768,104	28,937,514

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	944,685	812,671
短期借入金	4,046,270	6,553,406
リース債務	923,200	1,360,165
未払法人税等	255,926	237,858
未払金	1,325,243	1,715,343
賞与引当金	325,000	202,243
設備関係支払手形	369,557	690,397
製品保証引当金	37,900	45,500
資産除去債務	52,947	—
その他	958,303	148,636
流動負債合計	9,239,035	11,766,223
固定負債		
長期借入金	3,128,558	3,478,446
リース債務	2,752,705	3,109,441
退職給付に係る負債	1,535,967	1,570,243
役員退職慰労引当金	74,293	71,253
資産除去債務	57,290	57,542
その他	28,190	2,000
固定負債合計	7,577,005	8,288,926
負債合計	16,816,040	20,055,149
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,841,280	1,841,280
資本剰余金	3,546,560	3,546,560
利益剰余金	3,224,605	3,735,752
自己株式	△435,910	△435,989
株主資本合計	8,176,535	8,687,602
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	210,439	228,197
繰延ヘッジ損益	△277,102	31,771
為替換算調整勘定	1,815	67,815
退職給付に係る調整累計額	△159,625	△133,021
その他の包括利益累計額合計	△224,471	194,762
純資産合計	7,952,063	8,882,364
負債純資産合計	24,768,104	28,937,514

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	16,099,870	18,227,788
売上原価	9,616,857	10,798,140
売上総利益	6,483,013	7,429,647
販売費及び一般管理費	5,890,725	6,175,346
営業利益	592,288	1,254,300
営業外収益		
受取利息	725	1,960
受取配当金	6,216	6,515
受取賃貸料	14,071	7,786
助成金収入	2,230	24,177
売電収入	26,558	23,968
その他	15,855	11,341
営業外収益合計	65,656	75,749
営業外費用		
支払利息	85,665	77,681
為替差損	8,461	77,807
その他	24,522	21,248
営業外費用合計	118,650	176,737
経常利益	539,293	1,153,312
特別利益		
固定資産売却益	5,013	31
投資有価証券売却益	1,807	—
特別利益合計	6,820	31
特別損失		
固定資産売却損	—	19,193
固定資産除却損	21,694	35,333
特別損失合計	21,694	54,526
税金等調整前四半期純利益	524,420	1,098,817
法人税、住民税及び事業税	122,412	339,667
法人税等調整額	119,416	60,249
法人税等合計	241,828	399,916
四半期純利益	282,591	698,901
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	282,591	698,901

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	282,591	698,901
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△55,742	17,757
繰延ヘッジ損益	△59,659	308,873
為替換算調整勘定	18,422	26,603
退職給付に係る調整額	6,579	65,999
その他の包括利益合計	△90,401	419,234
四半期包括利益	192,190	1,118,135
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	192,190	1,118,135
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	524,420	1,098,817
減価償却費	1,317,120	1,376,779
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,642	40,951
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	72,431	72,620
賞与引当金の増減額(△は減少)	△126,510	△122,756
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△230	7,600
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,078	△3,040
受取利息及び受取配当金	△6,941	△8,475
支払利息	85,665	77,681
固定資産売却損益(△は益)	△5,013	19,161
固定資産除却損	21,694	35,333
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,807	—
売上債権の増減額(△は増加)	△174,617	△88,861
たな卸資産の増減額(△は増加)	697,489	△73,927
仕入債務の増減額(△は減少)	256,525	△132,014
未払金の増減額(△は減少)	70,851	439,513
未払消費税等の増減額(△は減少)	436,000	△495,296
その他	△164,406	△1,365
小計	3,008,107	2,242,721
利息及び配当金の受取額	6,941	8,475
利息の支払額	△84,552	△76,532
法人税等の支払額	△64,387	△367,971
法人税等の還付額	21,220	3,561
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,887,329	1,810,255
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△301,625	—
保険積立金の解約による収入	—	12,664
有形固定資産の取得による支出	△306,657	△1,885,411
有形固定資産の売却による収入	5,000	3,610
投資有価証券の取得による支出	△777	△74,805
投資有価証券の売却による収入	13,856	—
貸付けによる支出	—	△239,593
貸付金の回収による収入	3,307	6,307
敷金及び保証金の差入による支出	△3,538	△1,136
敷金及び保証金の回収による収入	5,869	20,847
資産除去債務の履行による支出	—	△53,000
その他	△8,334	△407,298
投資活動によるキャッシュ・フロー	△592,899	△2,617,815
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	776,764	2,647,028
長期借入れによる収入	—	1,709,760
長期借入金の返済による支出	△1,479,482	△1,515,076
自己株式の取得による支出	△57	△79
配当金の支払額	△191,706	△187,186
リース債務の返済による支出	△631,153	△697,674
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,525,637	1,956,771
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,722	86,952
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	783,514	1,236,164
現金及び現金同等物の期首残高	1,155,443	2,028,853
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,938,958	3,265,017

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	コンタクトレンズ・ケア用品	眼鏡	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,133,030	710,241	15,843,272	256,598	16,099,870
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,133,030	710,241	15,843,272	256,598	16,099,870
セグメント利益又は損失(△)	1,116,908	△52,182	1,064,726	△54,023	1,010,703

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、眼内レンズや携帯電話事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,064,726
「その他」の区分の損失(△)	△54,023
全社費用(注)	△418,414
四半期連結損益計算書の営業利益	592,288

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の総務部や経理部、情報システム部等の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	コンタクトレンズ・ケア用品	眼鏡	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,313,657	722,169	18,035,827	191,961	18,227,788
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	17,313,657	722,169	18,035,827	191,961	18,227,788
セグメント利益又は損失(△)	1,784,278	207	1,784,486	△48,633	1,735,852

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、眼内レンズや携帯電話事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,784,486
「その他」の区分の損失(△)	△48,633
全社費用(注)	△481,551
四半期連結損益計算書の営業利益	1,254,300

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の総務部や経理部、情報システム部等の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。